



2021年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月13日

上場会社名 株式会社三機サービス 上場取引所 東
 コード番号 6044 URL http://www.sanki-s.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北越 達男
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営管理本部長 (氏名) 日比 圭司 TEL 079-289-4411
 四半期報告書提出予定日 2020年10月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第1四半期の連結業績（2020年6月1日～2020年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第1四半期	2,938	27.0	1	—	3	—	△6	—
2020年5月期第1四半期	2,314	△13.1	△53	—	△52	—	△34	—

(注) 包括利益 2021年5月期第1四半期 △10百万円 (—%) 2020年5月期第1四半期 △42百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第1四半期	△1.16	—
2020年5月期第1四半期	△5.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期第1四半期	4,673	2,719	58.1	460.59
2020年5月期	4,847	2,877	59.2	486.39

(参考) 自己資本 2021年5月期第1四半期 2,715百万円 2020年5月期 2,867百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2021年5月期	—	—	—	—	—
2021年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正につきましては、本日（2020年10月13日付）で別途公表しております「2021年5月期業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2021年5月期の連結業績予想（2020年6月1日～2021年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,900	5.6	△21	—	△20	—	△19	—	△3.34
通期	11,800	1.0	106	△73.9	105	△74.1	64	△76.4	10.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2020年10月13日付）で別途公表しております「2021年5月期業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年5月期1Q	5,896,085株	2020年5月期	5,896,085株
② 期末自己株式数	2021年5月期1Q	189株	2020年5月期	189株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年5月期1Q	5,895,896株	2020年5月期1Q	5,848,387株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、個人消費、設備投資、輸出が急激に減少するなどマイナス成長が続いております。また、国内外で段階的な経済活動再開の動きが見られるものの、足元では新型コロナウイルスの新規感染者数が再び増加傾向となるなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻くメンテナンス業界におきましては、設備の維持管理コストを減少させるための省エネ提案や、突発的な故障の発生を減少させるための保全メンテナンスの要望が多くなってきており、また、当社グループがメインターゲットとしている小売業や飲食業を中心とした多店舗展開企業では、メンテナンス管理の一括アウトソーシング化のニーズも高まってきております。

このような環境下において、当社グループは、24時間365日稼働のコールセンターを核としたすべての設備機器を対象とするサービスを強みとして、社内に蓄積されたノウハウやデータに基づき突発的な修理不具合を未然に防止するための保全メンテナンスや機器入替、また、環境改善を考えた省エネ等の提案営業を行うことで、お客様の潜在的ニーズを掘り起こすことに注力してまいりました。

また、自社メンテナンスエンジニアの多能工化（大型吸気式冷温水機をはじめとして小型パッケージエアコン等の各種空調機器を扱うことができる事）を推進することや新入社員の早期育成を行うために、引き続き当社研修センターでの実機研修による人材育成を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に延期になっていた一部の省エネ工事案件や定期点検が再開したことや、飲食業を中心に売上が減少したものの、新たな大口顧客様に対するサービスの提供開始及び既存顧客様に対するメンテナンスサービスの提供範囲を拡大したこと等により2,938,946千円（前年同期比27.0%増）、売上原価2,306,071千円（前年同期比27.2%増）となりました。また、販売費及び一般管理費は、新基幹システム導入に伴う減価償却費等の増加等により631,075千円（前年同期比13.6%増）となりました。これらの結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益は1,800千円（前年同期は53,684千円の営業損失）となりました。

当第1四半期連結累計期間の経常利益は3,129千円（前年同期は52,963千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は、サンキーソナデジ株式会社の清算に伴う子会社整理損15,342千円を計上したこと等により6,837千円（前年同期は34,809千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ204,616千円減少し3,457,713千円となりました。主な要因は、現金及び預金が103,685千円、受取手形及び売掛金が52,347千円減少したこと等によりです。

また、固定資産は、前連結会計年度末に比べ30,628千円増加し1,215,612千円となりました。主な要因は、無形固定資産が34,191千円増加したこと等によりです。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ173,987千円減少し4,673,325千円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ170,721千円減少し1,452,555千円となりました。主な要因は、工事未払金が66,931千円、未払法人税等が70,599千円減少したこと等によりです。

また、固定負債は、前連結会計年度末に比べ154,726千円増加し501,606千円となりました。主な要因は、長期借入金が160,000千円増加したこと等によりです。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ15,995千円減少し1,954,161千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ157,992千円減少し2,719,163千円となりました。主な要因は、配当金を147,397千円支払ったこと等によりです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予測につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による工事案件等の延期やサンキーソナデジ株式会社の解散清算に伴う撤退コストの増加、また、ITシステム強化のためのシステム投資効果が想定より回収可能額を大きく下回る状況を勘案した結果、利益面では前年度実績を下回る見通しとなりました。

新型コロナウイルスの収束時期等により当予想は大きく変動する可能性があるため、業績動向を踏まえ修正が必要となる場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,136,551	1,032,866
受取手形及び売掛金	2,218,783	2,166,436
未成工事支出金	44,242	42,967
原材料及び貯蔵品	49,904	50,115
その他	217,945	170,456
貸倒引当金	△5,097	△5,128
流動資産合計	3,662,330	3,457,713
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	229,661	227,550
土地	93,797	93,797
その他(純額)	31,701	29,112
有形固定資産合計	355,160	350,460
無形固定資産	362,634	396,826
投資その他の資産		
投資有価証券	146,807	149,860
長期前払費用	107,652	106,615
退職給付に係る資産	22,785	23,510
繰延税金資産	118,848	116,245
その他	76,016	77,015
貸倒引当金	△4,921	△4,921
投資その他の資産合計	467,188	468,325
固定資産合計	1,184,983	1,215,612
資産合計	4,847,313	4,673,325
負債の部		
流動負債		
工事未払金	858,883	791,952
1年内返済予定の長期借入金	40,036	65,038
未払法人税等	79,845	9,245
賞与引当金	110,000	71,673
その他	534,512	514,645
流動負債合計	1,623,277	1,452,555
固定負債		
長期借入金	—	160,000
退職給付に係る負債	145,851	148,975
資産除去債務	16,967	18,056
長期末払金	156,545	150,885
その他	27,515	23,689
固定負債合計	346,880	501,606
負債合計	1,970,157	1,954,161

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	590,985	590,985
資本剰余金	476,485	476,485
利益剰余金	1,820,399	1,666,163
自己株式	△274	△274
株主資本合計	2,887,595	2,733,359
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15,167	△13,148
為替換算調整勘定	△4,743	△4,603
その他の包括利益累計額合計	△19,910	△17,751
非支配株主持分	9,471	3,555
純資産合計	2,877,156	2,719,163
負債純資産合計	4,847,313	4,673,325

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)
売上高	2,314,410	2,938,946
売上原価	1,812,476	2,306,071
売上総利益	501,933	632,875
販売費及び一般管理費	555,618	631,075
営業利益又は営業損失(△)	△53,684	1,800
営業外収益		
受取利息	312	323
受取配当金	604	532
受取手数料	297	282
受取家賃	679	579
その他	700	412
営業外収益合計	2,593	2,130
営業外費用		
支払利息	527	409
為替差損	504	5
租税公課	750	300
その他	89	85
営業外費用合計	1,871	800
経常利益又は経常損失(△)	△52,963	3,129
特別損失		
子会社整理損	—	15,342
特別損失合計	—	15,342
税金等調整前四半期純損失(△)	△52,963	△12,213
法人税等	△15,414	519
四半期純損失(△)	△37,548	△12,732
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,738	△5,894
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△34,809	△6,837

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)
四半期純損失(△)	△37,548	△12,732
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	2,019
為替換算調整勘定	△5,323	118
その他の包括利益合計	△5,332	2,137
四半期包括利益	△42,881	△10,594
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△38,069	△4,674
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,811	△5,920

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。